

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/29 （9/22との比較）	9/29 （9/22との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.10% （▲0.01）	90.22円 （▲0.61%）	+3.7% 2017年2Q	1.00%	NAFTA（北米自由貿易協定）第3回会合が終了。鉱工業製品価格は前回値よりも上昇したものの市場予想を下回る結果。国債利回りは小幅低下。カナダドルは対円で下落	製造業PMIや景況感指数、雇用統計などの発表を予定。NAFTA再交渉、中銀や米国の金融政策動向などにも注目しつつ、債券・為替市場は安定的な推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	8.53% （+0.10）	35.57円 （▲0.75%）	+0.3% 2017年2Q	8.25%	8月の経常収支は赤字幅が縮小。失業率も改善。国内の政治的不透明感が継続する中、米ドル高の影響などもあり、レアルは対米ドル、対円でともに下落。国債利回りは上昇。	鉱工業生産やCPIなどの発表を予定。債券市場は中銀の緩和的な政策スタンスなどから堅調に推移すると見込むも、為替市場は政治的不透明感の残存などから上値の重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.71% （+0.11）	6.16円 （▲2.35%）	+1.8% 2017年2Q	7.00%	年内の米追加利上げ観測の高まりから米ドル高が進行する中、NAFTA再交渉が引き続き先行き不透明な状況であることなどが下押しし、ペソは対米ドル、対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業PMIなどの発表を予定。前回の数値を上回るか注目。NAFTA再交渉や、中銀の金融政策の動向をにらみつつ、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/29 (9/22との比較)	9/29 (9/22との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.84% (+0.04)	88.13円 (▲1.17%)	+1.8% 2017年2Q	1.50%	主要な経済指標の発表はなし。中銀の総裁補は、家計債務の膨らみで、経済の感応度が高くなることを指摘。国債利回りは上昇。オーストラリアドルは対円で下落。	政策金利や貿易収支などの発表を予定。米国の経済政策や鉄鉱石価格、そして10月に行われる中国共産党大会の動向に注意しつつも、債券・為替市場はレンジ内の推移を予想。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.97% (▲0.03)	81.12円 (▲1.10%)	+2.5% 2017年2Q	1.75%	中銀は政策金利の据え置きを決定。声明文では経済環境に不確実性が残るため相当期間緩和的な金融政策を続ける姿勢を表明。企業景況感が低下したこともあり、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	選挙の最終結果確定を7日に予定。キャスティングボードを握る第3党は結果を見て連立相手を判断する意向を表明。政治的な不透明感に加え中銀が改めて通貨安が好ましいとの見解を示したため、通貨は上昇しにくい環境。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.59% (▲0.00)	14.13円 (▲1.59%)	+0.2% 2017年2Q	0.50%	失業率が改善する一方、小売売上高は減少するなど、経済指標はまちまち。中銀総裁は労働市場の改善で実質賃金が上昇するとの見通しを示唆。ユーロ相場の影響を受けノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは横ばい。	石油関連産業の投資や雇用の下押し圧力が和らぐ中、景気は安定した推移になると予想。製造業PMIは改善基調が続く見込み。鉱工業生産は前月に大きく上昇した反動もあり、前月比の伸び率は鈍化する公算。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/29 （9/22との比較）	9/29 （9/22との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	7.50% （+0.12）	8.28円 （▲1.79%）	+1.1% 2017年2Q	6.75%	貿易収支は黒字幅が縮小するも市場予想を上回る結果。中銀総裁は政治安定の必要性に言及。海外市場の流れにつれて、国債利回りは上昇。ランドは対米ドル、対円でともに下落。	製造業PMIなどの発表を予定。主要国の重要指標の発表などを控え、債券・為替市場は海外市場の影響を受けやすく、不安定な国内情勢も加わり、変動の大きい展開を予想。
	Baa3	 金利上昇	 金利低下	 景気鈍化	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.13% （+0.12）	0.84円 （▲0.71%）	+5.0% 2017年2Q	4.25%	22日に中銀が市場予想に反して追加利下げを決定したものの、欧米主要国での金利上昇の影響などを受け、国債利回りは上昇。投資家のリスク回避的な動きから、ルピアは対円、対米ドルとともに下落。	製造業PMIやCPIなどの発表を予定。世界的に金利上昇が意識される中、国債利回りは上昇しやすい展開を予想。一方、中銀はルピアの安定性を重視する姿勢を維持する中、ルピアは底堅く推移する見込み。
	Baa3	 金利低下	 金利横ばい	 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.64% （▲0.02）	1.72円 （▲0.23%）	+5.7% 2017年2Q	6.00%	主席経済顧問は、自国通貨高抑制のため中銀による為替介入を公表。ルピーは対米ドル、対円でともに下落。目立った国内イベントがない中、国債利回りは小幅低下。	政策金利や製造業PMIなどの発表を予定。介入によるレートの修正を受けて中銀の声明に注目。債券・為替市場は徐々に落ち着く展開を想定するものの、経済成長を加速させたい政府の動向に注目。
	Baa3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

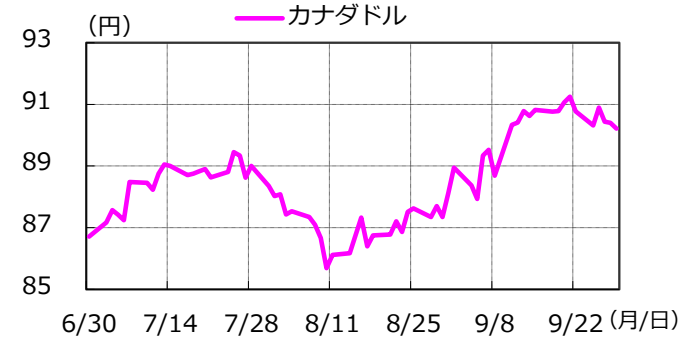
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

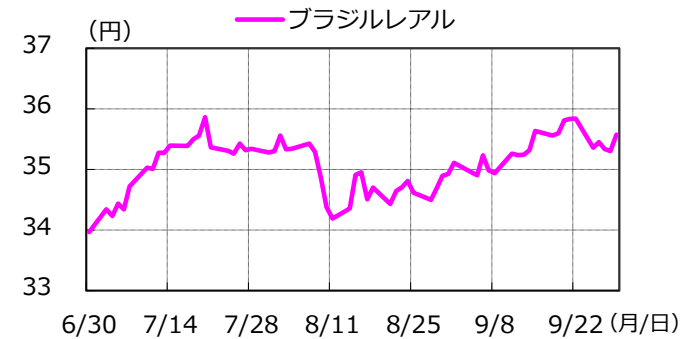
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/30～2017/9/29

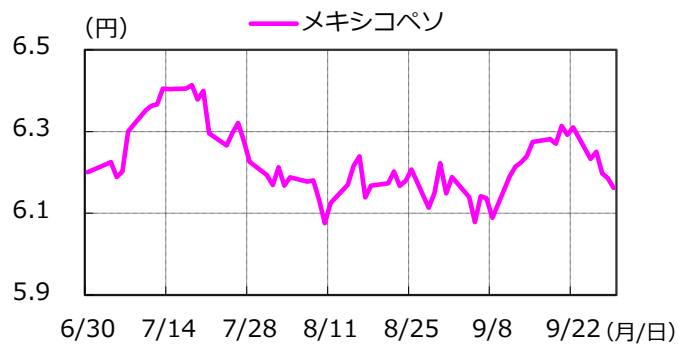
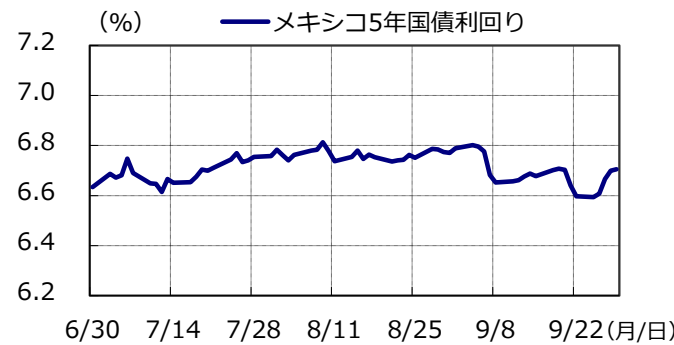
カナダ



ブラジル



メキシコ

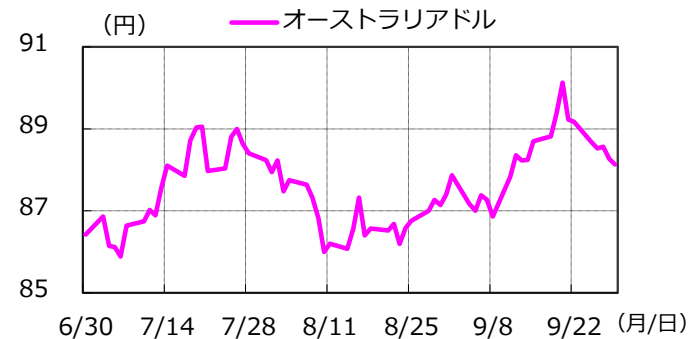


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

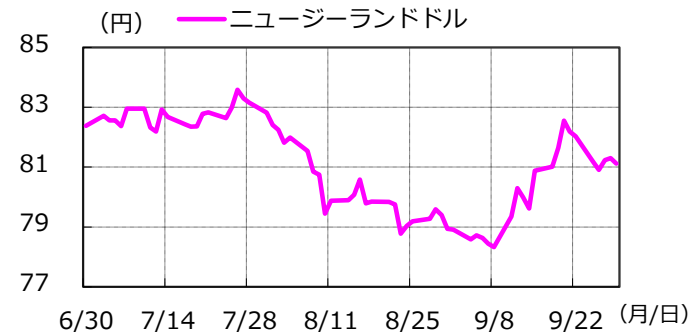
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/30～2017/9/29

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

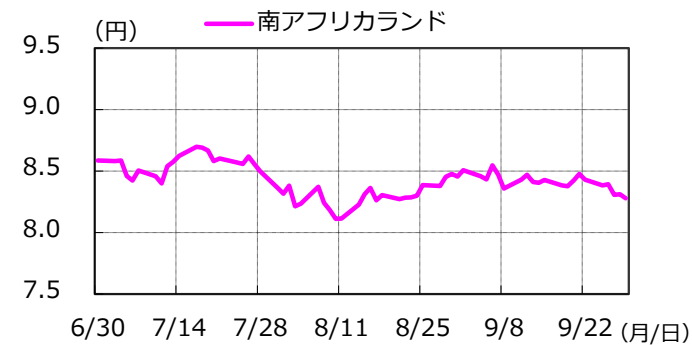


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

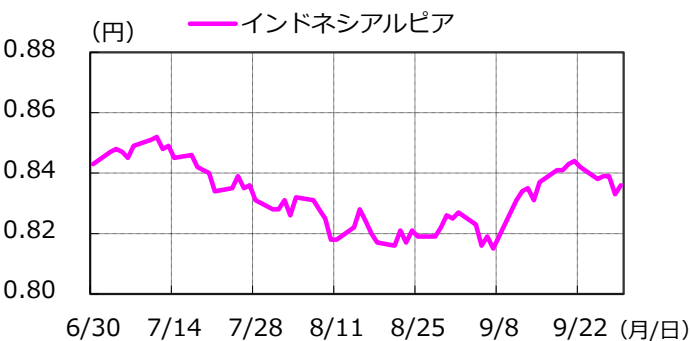
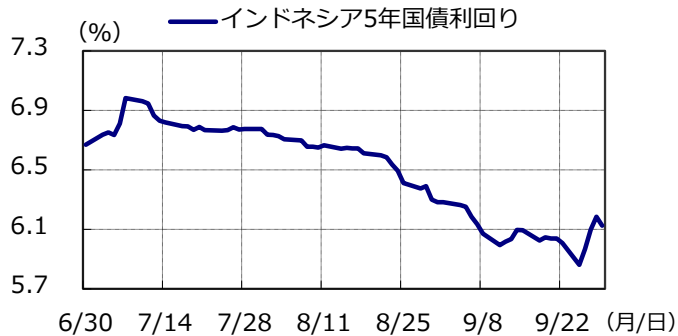
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/30～2017/9/29

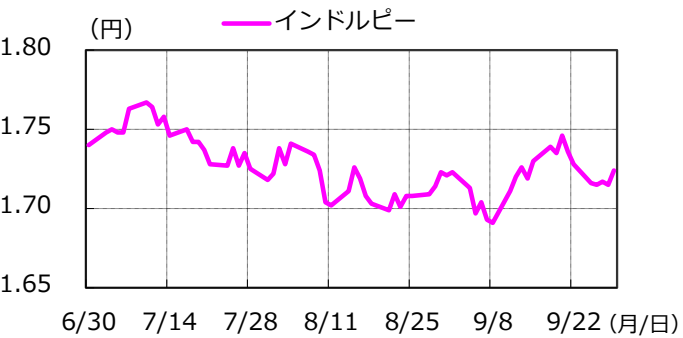
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。



# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。